

VIVA! ひめじ

<日本語版> 2012年 3月 Vol.40

<People>インタビューP1
ぶらり街歩きP2・P3
新しい在留管理制度について No.1P4
津波被害から身を守るためにP5
お知らせP6

はっこう ざい ひめじ し ぶんか こくさいこうりゅうざいだん
発行(財)姫路市文化国際交流財団
じょうほうしきくせい ぼらんてい あ
情報誌作成ボランティア

URL <http://www.himeji-iec.or.jp>



<People> Phan Thi Minh Xuan (ファン チ ミンスン)さん

ファン チ ミンスンさんはベトナムのホーチミン市出身で、2003年から日本に住んでいます。

げんざい こくさいこうりゅうでまえこうざ こうし じこく ぶんか せいかつ れきし しょうかい じょうず にほんご
現在は国際交流出前講座の講師として、自国の文化、生活、歴史を紹介しています。上手な日本語
による紹介は公民館や学校で大変人気があり、今年も益々の活躍が期待されています。

Q: 母国ベトナムを紹介してください。

A: ベトナムは南北に細長い国で、面積は日本の約90%です。南部は赤道に近く、熱帯気候で雨季と乾季があり、北部は四季がある穏やかな温帯気候です。主な産業は農業ですが、近年は海外資本の会社も増え始めています。また、国民の80%は仏教徒で情緒豊かで穏やかな国民が多いです。

Q: 来日の動機と日本の印象を教えてください。

A: 私が日本企業で職中に主人と知り合い、ホーチミン市内で結婚してすぐに来日しました。日本は産業も医療も先進国ですので、とても暮らしやすく、二人の子供の出産のときも安心でした。

Q: ベトナムと日本の食文化はどのように思いますか。

A: 日本で使わないベトナム料理の調味料にココナツミルクや魚醤があります。これらによる味付けは人により好き嫌いがありますが、日本人にもなじみやすい味だと思います。
ベトナムの代表的な料理には、フォー(米のうどん)、パインセオ(ベトナム風お好み焼き)、蒸し豚ミンチ肉、ベトナムカレー(ココナツカレー)などがあります。ちなみに私の好きな日本食は、お寿司、すき焼き、鍋料理です。

Q: 最後にあなたは未来にどんな夢がありますか。

A: 今は二人の子供の育児に追われて大変ですが、時間が取れば、もっと日本語を勉強して、翻訳や通訳の仕事につきたいです。またベトナム料理の作り方なども紹介してみたいです。

ぶらり街歩き

今回は「ひめじRe-店舗計画」で活動されている橋本悠子さんにお話をうかがいました。

「ひめじRe-店舗計画」

わたしたちは、姫路に残る古い空き家を活かして街並みを再生する活動をしています。

古くなって傷んだ空き家を直して、店舗として使います。そこに人が集まり、その魅力を感じることが出来る場所をたくさんつくっていきたくと思っています。

特に、わたしたちの活動の中心となるのは姫路城の西側にある男山周辺です。まだまだ古い街並みや武家屋敷、また文学館など街歩きに最適なスポットがあります。それをご紹介します。

町家カフェ「しょうあん」

築100年以上たつ古民家を活用してカフェを営業中。

古民家特有の建築（虫籠窓や階段簞笥）をごらんいただけます。

また、日本の昔ながらの食事を楽しんでいただけます。

日本の伝統建築の中でお茶を飲みながらゆっくりとくつろげます。

住所：姫路市材木町9

TEL：079-297-0828

<http://syouan.net/>

※3月31日（土）13:30～ 「雛の踊り」子供たちによる日舞の披露があります。



むしこまど
虫籠窓

ゲストハウス「縁楽堂」

世界遺産 姫路城のすぐ横、柳町にある古民家スタイルの安宿ゲストハウスです。

昔は足軽が住んでいたという古民家をオーナー自らが改築しました。そして、新たに国内外を問わず様々な人達の行き交うスポットとして利用されています。

住所：姫路市柳町8-2

TEL：079-260-7373

<http://engakudou.com/index.html>



男山八幡宮・千姫天満宮

男山は、頂上から姫路城を一望することができます。夜景を含めて姫路市内のベスト眺望ポイントの一つとなっています。男山八幡宮は厄除けの神様として有名です。姫路城からもよく見えるので、千姫も毎日拝んだといわれています。

男山の中腹にあるのが千姫天満宮です。千姫にちなんだものであることから、恋愛の神としても親しまれているようです。

住所：姫路市山野井町 1-3

文学館・「望景亭」

文学館は建築家安藤忠雄設計による現代建築の秀作です。「望景亭」は大正期に建てられた日本家屋を補修したもので、40畳の和室と茶室を備えています。

姫路市内の美業家、浜本家の別邸として大正時代初期に建設され、国の有形文化財です。

昔はここでよく結婚式がありました。

住所：姫路市山野井町 84番地

TEL：079-293-8228

<http://www.city.himeji.lg.jp/bungaku/>

銭湯「白山湯」

大正15年（1926年）築創業の2階建ての建物です。いまでも続いている姫路で一番古い銭湯です。

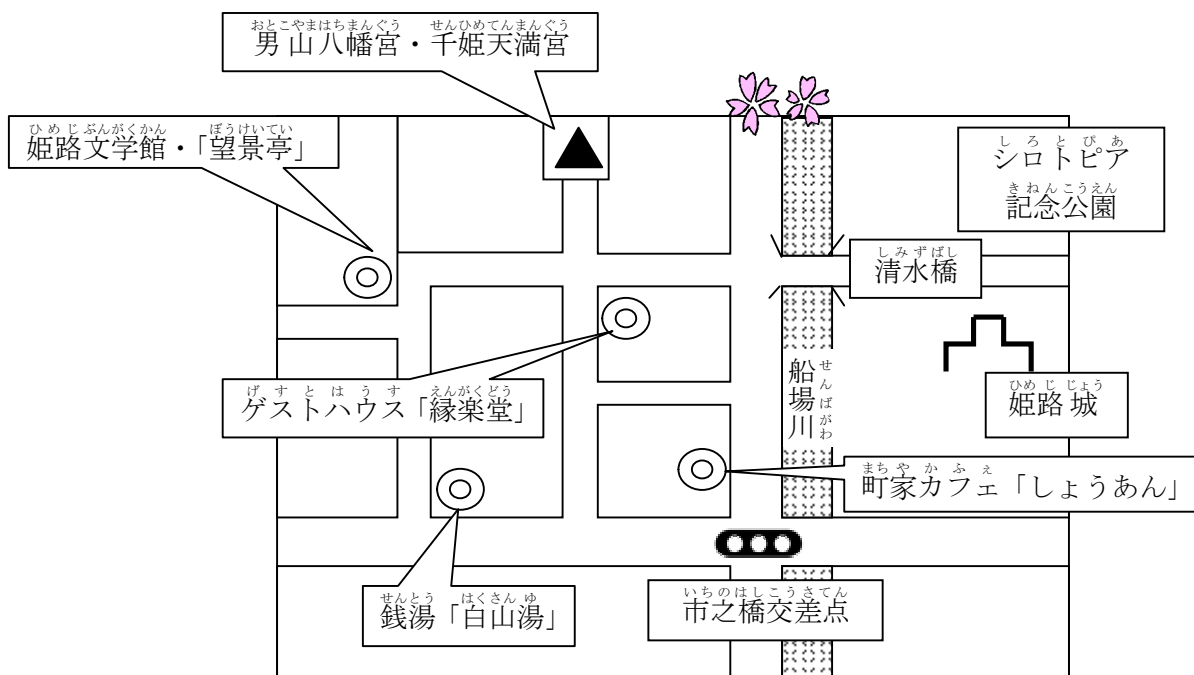
住所：姫路市鷹匠町乙 8

TEL：079-293-4169

また、お城のお堀周辺は木々も多く、散策に適しています。清水橋より北側の桜並木はとても美しく隠れた花見スポットです。ぜひ歩いてみてください。

ゆっくりと歩くことで、お城の周辺の古い街並みや歴史の名残を感じることができると思います。

姫路が姫路城だけでなく歴史の残る街並みとして、これからももっと多くの方に楽しんでいただけるように、わたしたちの活動も力を入れていきたいと考えています。



※※※ 新 しい在留管理制度について ※※※ No.1

改正入管法が2012年7月9日に施行され、新しい在留管理制度がスタートとします。対象となるのは、入管法上の在留資格を持って日本に中長期滞在する外国人(中長期滞在者)で、例えば日本人と結婚している方、日系人の方や定住者、企業に勤めている人、技能実習生、留学生や永住者の方です。観光目的で滞在する方は対象外です。

○ 再入国許可制度の変更 **みなし再入国許可制度の導入**

今までは出国の際に必ず再入国許可を受ける必要がありましたが、1年以内ならそれが不要になりました。ただし、同じ活動を継続する場合は、例えば出国中に留学期間が終わった場合は適用されません。

出国する期間が1年を超える場合は再入国許可を受けてください。この再入国許可は以前は3年が上限でしたが、今回の改正で5年に伸びます。

○ 外国人登録制度の廃止

現在、日本に中長期滞在中の方が持っている「外国人登録証明書」は地方入国管理局で、「在留カード」に順次切り替えますが、しばらくの間は「在留カード」とみなされます。永住者、それ以外の在留資格によって、外国人登録証明書が在留カードとみなされる期間は異なりますので、注意が必要です。在留期限切れなどで更新の届出や申請の際に新たな在留カードに切り替えます。

○ 外国人住民の住民基本台帳制度がスタート

現在日本に在留資格を持って滞在している中長期滞在者の方は特別な手続きの必要はありません。該当する方には5月ごろ市町村から仮住民票が届きます。届いたら、手元の外国人登録証明書の内容と合っているかよく確認をしてください。仮住民票の記載が事実と違っている場合は、変更申請などの手続きを行ってください。

7月9日以降に市外転出する場合は特に注意が必要です。引っ越しまでに旧住所地の役所で転出届を提出し、転出証明書をお願いします。新住所地の役所で転入届と転出証明書を提出してください。市町村の役所へ行くときは在留カードを忘れずに持って行ってください。

また、新しい制度では外国人住民も住民票の対象となりますので、日本人と同一住所で生計を同じくしている外国人住民は外国人と日本人で構成する一の世帯(複数国籍世帯)の住民票が作成されます。

不法滞在者は新しい制度では対象になりませんので、7月までに最寄りの地方入国管理局に行って手続きをしてください。

<問合せ> 大阪入国管理局神戸支部 姫路出張所 TEL : 079-235-4688

姫路市役所 住民窓口センター 外国人登録担当 TEL : 079-221-2355

<詳細> 法務省入国管理局ウェブサイト http://www.immi-moj.go.jp/newimmiact_1/

いざという時の防災シリーズ① 津波被害から身を守るために

災害の多い我が国では日頃から緊急時の対応を考えておく必要があります。

「姫路市地域防災計画」では、地震災害と風水害等の災害とに分けて各々の対策が公示されています。

今回は、津波災害時に備えて指定された避難経路や避難場所と、その標識表示について紹介します。

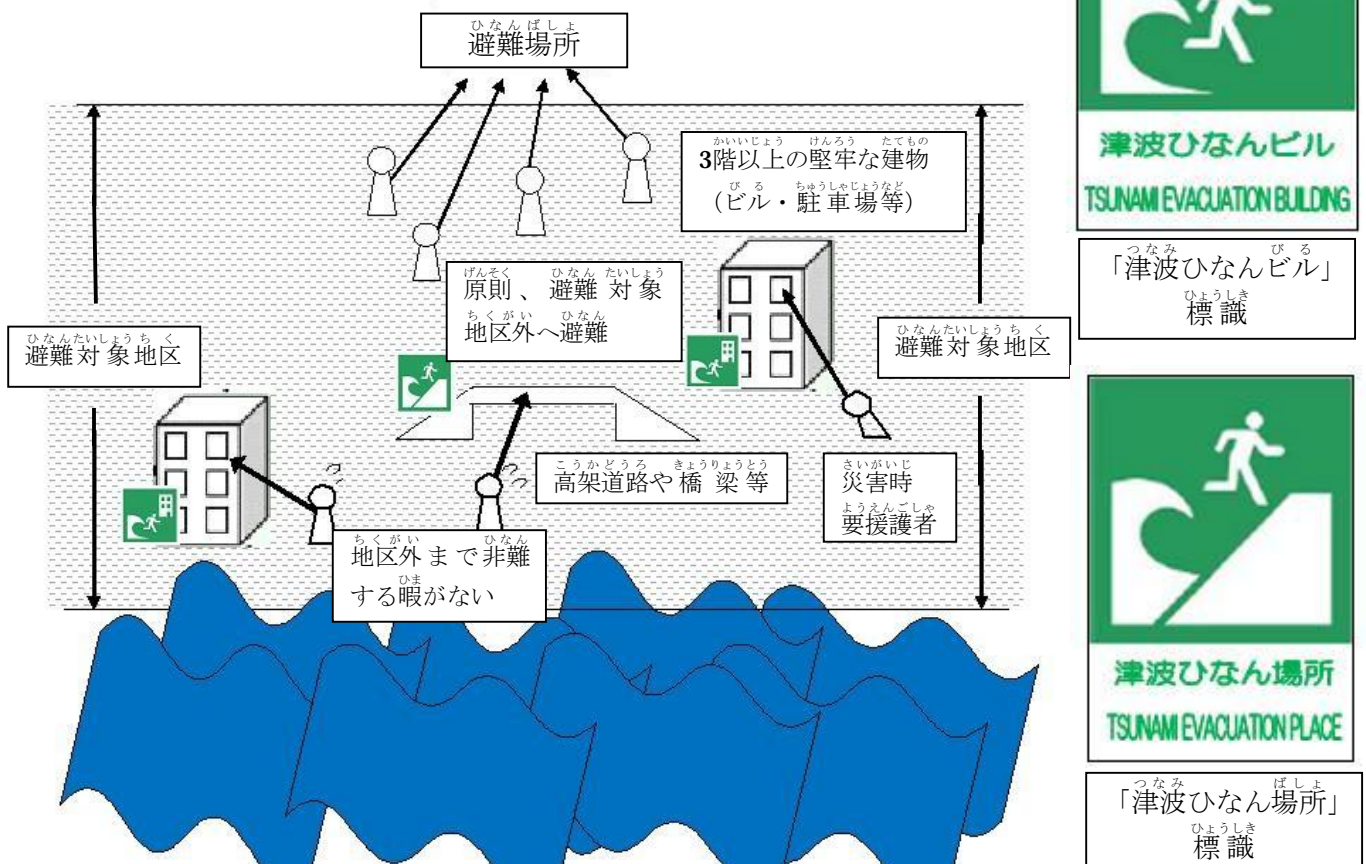
これは、今世紀前半にも発生の恐れがある東南海・南海地震を想定し作成されたもので、津波の第一波の到着時間は97～130分と推定されます。避難対象地区外（おおむね国道250号から北にある標高の高い場所）へ原則として徒歩で避難してください。

上記安全地帯まで避難出来ない人に対し、市では緊急的に一時避難場所を指定しています。学校や民間のビル等の「津波ひなんビル」と高架道路や橋梁等の「津波ひなん場所」です。

津波注意報・警報は緊急地震速報（最大震度5弱以上）と同時にTV、ラジオ、携帯電話、その他広報媒体で報道されますので、これらの内容を把握し行動してください。

日頃から安全で避難し易い場所、経路、所要時間などをホームページ[姫路市津波避難ビル等一覧]などを参考に事前確認しておきましょう。

<問合せ> 姫路市役所 危機管理室 TEL : 079-223-9522



☆☆☆ (財) 姫路市文化国際交流財団からのお知らせ ☆☆☆

「VIVA! ひめじ」ボランティア募集!

(財) 姫路市文化国際交流財団では、在住外国人のための生活情報誌「VIVA! ひめじ」を作成しています。記事を作成する編集ボランティアと、その記事を各言語に翻訳する翻訳ボランティアのご協力により、英語・中国語・ベトナム語・スペイン語・ポルトガル語・日本語の計6ヶ国語で、年4回発行しています。現在、「VIVA! ひめじ」では、編集・翻訳ともにボランティアを募集しています。ご興味のある方、質問のある方は、お気軽に下記までご連絡下さい。

※※※編集後記※※※※

東日本大震災から、ちょうど1年が経ちました。震災後、日本国内や海外のいろんな人々から、私たちは助けられてきました。改めて、人のあたたかさや命があることのすばらしさを感じた1年だったのではないのでしょうか。

さて、みなさん、そろそろ春が近づいています。笑顔いっぱい楽しい1年になりますように。

「VIVA! ひめじ」41号は、6月発行予定です。どうぞお楽しみに。皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。下記連絡先まで、是非お寄せ下さい。

翻訳・ネイティブチェックのお手伝いをいただいた方

英語：実光知世、菅原智裕、上杉泰造、Tara Brichetto

中国語：甘文君、津田美花、朱翔宇、李果、曾寧

スペイン語：園田武志、若松玲奈、阿保景子

ポルトガル語：國光由布、長谷川由真、東村コズエ

ベトナム語：Vo Minh Nhut、Hoang Nam Phuong、Phan Thi Minh Xuan、Pham

許可をいただいた方のみ掲載しています。ご協力ありがとうございました。

「VIVA! ひめじ」では、常時、翻訳・ネイティブチェックをお手伝いいただける方を募集しています。興味のある方は、下記までご連絡下さい。ご連絡をお待ちしています。

連絡先

(財) 姫路市文化国際交流財団

〒670-0012 姫路市本町68-290 イーグレひめじ3階

TEL: 079-282-8950 FAX: 079-282-8955

Email: info@himeji-iec.or.jp